

地域おこし協力隊

こんな活動もしています

昨年は、秋間梅林と鉄道文化むらで、市職員有志やボランティアなどが協力隊隊員のアドバイスを受けながら、梅の収穫と鉄道模型のジオラマづくりを手伝いました。

これは同年から始まった「市職員の副業」を認める活動の一環で行われたもので、各メディアにも取り上げられたことで協力隊の知名度や、参加者の「やる気」向上にもつながりました。



活動拠点だけでなく市外・県外への出張、移住セミナーのオンライン開催などにより、積極的に安中市の観光や移住定住などをPRしています。

これからも安中市の魅力を伝え、さらなるイメージアップを図るため、活動の場を広げていきます。



政策・デジタル推進課

地域おこし協力隊担当の片岡主任

地域おこし協力隊は、すべての活動が自分ひとりでは完結できず、多くの調整が必要な難易度の高い仕事です。一方で、地域に与える影響も大きく、達成感や充実感のある仕事、それが「地域おこし協力隊」です。

こう言うと「ハードルが高のかな…」と感じるかもしれませんが、あくまで「1人で」ではなく「みんなで」です。私たちと一緒に汗を流して全力で走ってくれる人！ぜひ、安中市でお待ちしております。

今回の特集では、3人の地域おこし協力隊の活動の一部を紹介しました。

協力隊の活動を通して、新たな夢や目標を見つけた一方で毎日、難しい課題と向き合いながら「自分たちが安中市にできることは何か」探し続けている3人。

任期は少なくなってきましたが、今まで以上に活動の場を広げ最後まで走り抜けてくれることでしょうか。いろいろな場所で市民の皆さんと会うこともあるかもしれません。その時は、ぜひ「がんばって」と応援してあげてください。